

競技注意事項

1. 規則等について

「第 43 回東京学芸大学競技会」は、2022 年度日本陸上競技連盟競技規則、競技会要項及び本競技注意事項によって運営します。

2. 受付・待機場所について

- (1)参加者待機場所は、第 1 コーナー外の人工芝等を利用してください。
- (2)グラウンド入口に総合案内の窓口を設置します。
- (3)競技会に関するすべての質問等は、総合案内にお問い合わせください。

3. 競技場の使用について

- (1)競技場は全天候舗装です。全天候舗装用のスパイクピンを使用してください。
- (2)ウォーミングアップ等は、構内案内図に示す場所で行なってください。トラックは、当該エリアを使用する種目を実施しているときは、使用できませんのでウォーミングアップの際は気を付けてトラックを使用してください。
- (3)トラック内側の人工芝への立ち入りはご遠慮ください。
- (4)自転車の駐輪可能スペース以外には駐輪しないようにお願いします。
- (5)関係のない施設等への立ち入りはご遠慮ください。

4. アスリートビブスについて

アスリートビブスは主催者では用意いたしません。次の仕様で各自作成し、胸と背中に確実につけてください。

地色	白
大きさ	横 22 cm～24 cm×縦 18 cm～20 cm
数字	個人のナンバー (10000m,10000mW のみエントリー リストのオーダー番号)
数字の色	黒

なお、数字は、競技中競技役員に見やすいように、太く、はっきりと書いてください。

5. 招集について

- (1)招集所は、グラウンド入口に設置します。
- (2)招集開始・完了時刻は、競技日程記載のとおりとします。競技者本人以外の点呼は認められません。
- (3)招集時に腰ナンバー標識を受け取り、ランニングパンツ、タイツ等の右側につけてください。腰ナン

バー標識はフィニッシュ付近で回収します。

(4) やむを得ず競技に参加しない(欠場する)場合は、事前に「不出場届」(招集所に用意)を招集所に提出してください。

(5) リレーのオーダー用紙は、リレー種目の招集完了時刻の 1 時間前まで(競技日程記載の通り)に招集所に提出してください。

6. 競技について

(1) スターターの合図は、英語(On your marks. Set.)で行います。

(2) 計時方法は、写真判定システム(0.01 秒単位)を使用します。

(3) 走高跳、棒高跳におけるバーの高さは、次の通りとします。

種目	習の高さ	競技の高さ
子走高跳	意の高さ	1m75 1m80 1m85 1m90 1m95 2m00(以降 3cm ずつ)
子棒高跳	意の高さ	3m70 3m80 3m90 4m00 4m10(以降 10cm ずつ)

(4) 走幅跳、三段跳、砲丸投の試技数は 3 回とトップ 8 の計 6 回とします。

(5) 10000m、10000mW はホームストレートに給水所を設置します。

(6) 競技運営の都合上、審判長の判断で競技を打ち切ることがあります。打ち切りの目安は、男子 10000mW は 1 時間以内に 9600m を通過しないとします。

(7) 競技結果は、グラウンド倉庫の壁に掲示します。

7. 入構にあたって

(1) 入構の際は種目の時間に合わせ、正門から入構してください。

(2) 各団体の代表者は入講許可証を印刷し、必要事項を記入の上、正門の守衛に提示してください。入構許可証はメールで送信します。

8. その他

(1) 記録証明書は総合案内で発行します。(1 部 300 円)

(2) プログラム、アスリートビブス用布及び安全ピンを総合案内で販売します。

(プログラム 1 部 300 円、アスリートビブス 1 枚 100 円、安全ピン 8 個 100 円)

(3) 競技中に発生した傷病については、主催者側で応急処置を行いますが、その後の責任は負いかねます。なお、日本学生陸上競技連合普通会員はスポーツ安全保険に加入しているので、補償の対象となる場合があります。主催者での加入はありませんので、必要な方は各自でレクリエーション傷害保険等に加入してください。

(4) 荷物は各自で管理してください。万が一盗難・紛失があっても主催者側が責任を取ることはありません。

構内案内図

